

特集 山陰地区 自動車販売

環境性能割廃止 追い風に



山陰地区の2025年 暦年の新車販売台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同期比2.3%増の5万7580台とな

戻った。国内の新車販売も同様に、同3.3%増の4万5677台と2年ぶりに前年を上回ったため、全国の動きに比類した市場だった。結果的に前年超えの市場だったものの、月別で見ると上期の1~6月が前年超えだったのに対し、下期は7月~11月が前年割れで、12月はかろうじて前年を上回った。特に上期は、24年がダイハツ工業による認証不正の影響で販売台数が低迷していたために反動増で前年実績を上回ったが、下期からはその効果も少なくなくなり、上期で積み上げた前年超えの実績を相殺する結果となった。26年の新車販売市場は依然として不透明感が強いが、主力モデルのフルモデルチェンジを予定しているブランドが多いこともあり、販売増に期待する声も大きい。また、26年3月末で、車両購入時に燃費性能に応じて課税されていた「環境性能割」が廃止される追い風もあるため、販売拡大が期待される。25年の新車販売の内訳

は、登録車が同1.3%減の2万8744台、軽自動車と同6.1%増の2万8836台だった。ダイハツの反動増の影響もあり、軽自動車登録車の落ち込みをカバーした。メーカー別では、トヨタ(レクサス含む)が同3.1%増の1万5021台、日産が同16.7%減の4364台、ホンダが同14.2%減の8258台、マツダが同2.5%減の1784台、三菱が同3.6%増の2056台、スバルが同5.3%増の951台、スズキが同1.5%減の1万2588台、ダイハツが同50.1%増の9872台だった。落ち込みが目立ったのが日産とホンダだ。日産は25年10月末に新型「ルークス」を発売したものの、それ以前は数年間新車投入がなかったことに加え、ブランドイメージ悪化による集客力の低下が販売に影響したとみられる。ホンダは半導体不足による車両供給の遅れが販売に影響をおよぼした。

新車販売が鈍化している一方で、中古車販売は盛り上がりを見せている。新車価格の高騰で、新車の購入を諦め、中古車購入を検討するケースが増えているという。特に、旧ビッグモーターによる一連の不正問題以降、安心・安全を求めて新車ディーラーが扱う中古車を購入するケースが全国的に増えてきている風となっている。そのため、新車ディーラー各社では、下取り査定を強化する動きがみられ、良質な車両を確保する動きが強まっている。

26年の新車販売は、メーカーの生産と供給制約次第との見方もある。主力モデルのフルモデルチェンジなど新型車の投入が多数予定されているものの、一部メーカーでは販売店各社に供給する数を制約しており、販売しなくてもできない状況になることが予測される。そのため、新型車に頼らない体制づくりをし、今まで以上に顧客とのつながりが重視されるだろう。

相次ぐ新型車に期待

25年新車は2年ぶり増

登録車種	鳥取県		島根県		山陰地区合計	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
登録車	13,060	100.6	15,684	97.2	28,744	98.7
乗用車	11,450	99.6	13,830	96.8	25,280	98.0
普通	7,391	95.9	8,538	93.7	15,929	94.7
小型	4,059	107.0	5,292	102.3	9,351	104.3
貨物車	1,097	106.5	1,365	99.7	2,462	102.6
普通	405	81.0	520	86.7	925	84.1
小型	692	130.6	845	109.9	1,537	118.3
その他	513	113.0	489	100.4	1,002	106.5
軽自動車	12,294	107.8	16,542	104.8	28,836	106.1
乗用車	9,191	108.2	12,494	108.7	21,685	108.5
貨物車	3,103	106.5	4,048	94.6	7,151	99.4
その他	0	-	0	-	0	-
合計	25,354	104.0	32,226	101.0	57,580	102.3

メーカー	登録車	軽自動車	小計	前年比	前年比	前年比
トヨタ	6,581	143	6,724	103.9	155.4	104.6
レクサス	295	-	295	106.1	-	106.1
(トヨタ計)	7,019	805	7,824	104.7	81.0	104.7
日産	701	1,506	2,207	85.0	82.8	83.5
ホンダ	1,731	1,985	3,716	85.8	85.3	85.5
マツダ	426	203	629	99.3	88.6	95.6
三菱	199	574	773	95.2	101.6	99.9
スバル	433	88	521	120.3	118.9	120.0
スズキ	970	4,388	5,358	125.0	94.0	98.4
ダイハツ	157	4,213	4,370	138.9	160.7	159.8
いすゞ	273	167	440	105.0	72.9	105.0
日野	269	69	338	125.7	109.5	109.5
UDトラック	69	-	69	109.5	-	109.5
輸入車・その他	684	-	684	96.9	-	96.9

単位:台,% 日刊自動車新聞まとめ

ぬくもりを絶やすな。

おかげさまで島根トヨタグループは、創業から90年の節目を迎えました。

私たちはこれまで、人の「温度」を受け取りながら歩んできました。お客さまの笑顔、仲間との信頼、励ましや厳しさに背筋が伸びる瞬間も。やさしさと厳しさ、そのどちらにも宿る「愛」が、私たちを強く、熱く動かしてくれました。

時代が大きく変わる今だからこそ、人の想いに、人の「ぬくもり」で寄り添い続けます。

その決意を、90年の感謝とともに刻みます。



山陰地区自動車販売協会連合会支部長に聞く

日本自動車販売協会連合会鳥取県支部

米原 良支部長



鳥取県における2025年の新車販売台数(登録車)は約1万3千台と、24年からほぼ横ばい

IT活用して生産性向上

IT活用して生産性向上

務も効率化を図りながら、より一層の利用促進につなげていきたいと考えている。

界全体で国内市場の再生、活性化に取り組む、25年の市場を越えていくことを期待している。

自販連鳥取県支部の新車新規OSS(自動車保有関係手続のワンストップサービス)の利用状況は、支部内平均利用率が50・1%となり、利用会員だけの利用率は25年12月では60・4%になった。

日本自動車販売協会連合会鳥根県支部

野々村 健造支部長



2025年の鳥根県の登録車販売は、前年比2・8%減の1万5684台だった。全国の登録車販売が同1・2%増だった。

将来の人材確保へ種まき

将来の人材確保へ種まき

26年の登録車市場は、引き続き一部の車種で供給の懸念が残るものの、多数のメーカーで新車種の発売が予定されているため販売拡大に期待している。

26年の登録車市場は、引き続き一部の車種で供給の懸念が残るものの、多数のメーカーで新車種の発売が予定されているため販売拡大に期待している。

26年の登録車市場は、引き続き一部の車種で供給の懸念が残るものの、多数のメーカーで新車種の発売が予定されているため販売拡大に期待している。

社団法人 **日本自動車販売協会連合会** 鳥取県支部

支部長 米原 良

副支部長 吹野 正和

副支部長 倉下 光明

鳥取市丸山町二四六一
電話〇八五七(二四)六一七一

鳥根県自動車販売協会

支部長 野々村 健造

副支部長 櫻井 誠己

副支部長 黒川 正紀

松江市馬場町四三〇四
電話〇八五二(三七)〇〇四四

Honda SUV

Honda Cars 鳥取でぜひご体感ください!

WR-V VEZEL ZR-V

ギョツといいこと

Honda Cars 鳥取

鳥取北店 米子中央店 ハワイ店 鳥取南店 倉吉西店 U-Select米子

☎0857-28-3111 ☎0859-38-5111 ☎0858-48-5111 ☎0857-23-5111 ☎0858-28-1911 ☎0859-24-8111

地域に、カーライフに、新しい価値をお届けします。

未来に輝け!

Born! for the Future

Honda Cars 鳥根

松江東店 学園店 黒田店 雲南店 斐川店 出雲店 浜田西店

Future With You

ソウゾウしよう。ミライのために。

鳥根トヨペットは、この地域や社会を正しく理解し、未来への新たな価値と可能性を広げ、より良い地域社会の実現を目指し、貢献を続けます。

鳥根トヨペット

営業時間 9:30~18:00
定休日 火曜日 / 第1・第3・第5月曜日 / 祝日・振替休日(土・日曜日を除く)

本社 鳥根県松江市西津田3丁目2番7号
tel:0852(21)7000 / fax:0852(27)5136

